

2025年2月19日
第498回理事会

2025～2034年度の連系線のマージン（年間・長期）の
算出及び公表について
（案）

業務規程第129条第2項及び第3項の規定に基づき、2025～2034年度の連系線の年間及び長期の連系線のマージンの算出値を以下のとおり公表する。

あわせて、業務規程第128条の規定に基づき、連系線毎の実需給断面におけるマージンの設定の考え方を以下のとおり公表する。

1. 年間及び長期の連系線のマージン

別紙1及び2のとおり公表する。

2. 実需給断面におけるマージンの設定の考え方

別紙3のとおり公表する。

3. 公表

2025年3月1日に本機関ウェブサイトにて別紙4のとおり公表する。

以 上

【添付資料】

別紙1：2025・2026年度の連系線のマージン（年間）

別紙2：2027～2034年度の連系線のマージン（長期）

別紙3：マージンの設定の考え方及び確保理由

別紙4：ウェブサイト公表イメージ

2025・2026年度の年間マージン（年間）

2025年 3月 1日

1. 2025年度 平日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート4参照												
	東北⇒北海道	シート4参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	夜間は0MW
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	0~700	夜間は0MW
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0~860*1	0~860*1	0	0~860*1	0~860*1	0	0	0~860*1	0~860*1	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 想定需要の見直し等により、マージンの値は変更となる場合がある (以降、同じ)
 本資料において、昼間帯は8時~22時、夜間帯は0時~8時および22時~24時を表す (以降、同じ)
 需給調整市場に係るマージンは、エリア外調達量が未定のため設定していない (以降、同じ)
 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート13に記載

※1 関西四国間連系線作業に伴う設定

1. 2025年度 休日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート4参照												
	東北⇒北海道	シート4参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0~680*1	0~800*1	0	0~770*1	0~860*1	0	0	0~860*1	0~860*1	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート13に記載

※1 関西四国間連系線作業に伴う設定

1. 2025年度 北本連系設備

〔単位：MW〕

方向	4月				5月				6月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	250	280	290	290	290	310	310	310	280	320	300	320
東北⇒北海道	530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570
方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	280	320	290	320	290	330	290	320	280	330	310	320
東北⇒北海道	550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	560	570
方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	270	320	310	310	250	280	290	280	190	210	220	200
東北⇒北海道	540	570	560	560	530	550	550	550	500	510	520	510
方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
東北⇒北海道	490	490	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520

(注) 表中略記は「平:平日、休:休日、P:昼間帯、N:夜間帯」を表す（以降、同じ）
 マージンの値の内訳はシート11に記載

2. 2025年度 北本連系設備（作業時）

【作業時】

〔単位：MW〕

方向	5月（北本作業、600MW）				5月（北本作業、300MW）				備考
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	10	10	10	-	-	10	-	・北本作業（運用容量600MW）（片極停止） 平P 5/26-5/30, 6/2-6/6, 8/18-8/22, 8/25-8/29, 10/27-10/31, 11/4-11/7 平N 5/26-5/30, 6/2-6/6, 8/18-8/22, 8/25-8/29, 10/27-10/31, 11/4-11/7 休P 5/24-5/25, 5/31, 6/1, 6/7, 8/23-8/24, 8/30-8/31, 10/26, 11/1-11/3, 11/8-11/9 休N 5/24-5/25, 5/31, 6/1, 6/7, 8/23-8/24, 8/30-8/31, 10/26, 11/1-11/3, 11/8-11/9
東北⇒北海道	550	560	560	560	-	-	300	-	
方向	6月（北本作業、600MW）				6月（北本作業、300MW）				・北本作業（運用容量300MW）（双極停止） 平P 6/6, 8/31 平N 8/18 休P 5/25, 6/7, 11/9
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	20	0	20	0	-	0	-	
東北⇒北海道	550	570	560	570	300	-	300	-	
方向	6月（新北本作業、600MW）				7月（新北本作業、600MW）				・新北本作業（運用容量600MW） 平P 6/19-6/20, 6/23-6/27, 6/30, 7/1-7/4, 7/18, 7/22-7/25, 7/28-7/31, 8/1, 9/5, 9/8-9/12, 9/16-9/19, 9/22, 9/24-9/25, 10/6-10/10, 10/14-10/17, 10/20-10/24 平N 6/19-6/20, 6/23-6/27, 6/30, 7/1-7/4, 7/18, 7/22-7/25, 7/28-7/31, 8/1, 9/5, 9/8-9/12, 9/16-9/19, 9/22, 9/24-9/25, 10/6-10/10, 10/14-10/17, 10/20-10/24 休P 6/21-6/22, 6/28-6/29, 7/5, 7/19-7/21, 7/26-7/27, 8/2-8/3, 9/6-9/7, 9/13-9/15, 9/20-9/21, 9/23, 10/4-10/5, 10/11-10/13, 10/18-10/19 休N 6/21-6/22, 6/28-6/29, 7/5, 7/19-7/21, 7/26-7/27, 8/2-8/3, 9/6-9/7, 9/13-9/15, 9/20-9/21, 9/23, 10/4-10/5, 10/11-10/13, 10/18-10/19
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	280	320	300	320	280	320	290	320	
東北⇒北海道	550	570	560	570	550	570	550	570	
方向	8月（新北本作業、600MW）				8月（北本作業、600MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 11/17~11/18
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	290	330	290	320	0	30	0	20	
東北⇒北海道	550	570	550	570	550	570	550	570	
方向	8月（北本作業、300MW）				9月（新北本作業、600MW）				・函館幹線作業（順方向のみ運用容量550MW） 平P 11/28, 12/1-12/4, 1/19-1/23 平N 1/19-1/23 休P 11/29-11/30
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	30	-	-	280	330	310	320	
東北⇒北海道	300	300	-	-	550	570	560	570	
方向	10月（新北本作業、600MW）				10月（北本作業、600MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 11/17~11/18
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	270	320	310	310	0	20	10	10	
東北⇒北海道	540	570	560	560	540	570	560	560	
方向	11月（北本作業、600MW）				11月（北本作業、300MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 11/17~11/18
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	0	0	0	-	-	0	-	
東北⇒北海道	530	550	550	550	-	-	300	-	
方向	11月（函館幹線作業、順方向のみ550MW）				12月（函館幹線作業、順方向のみ550MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 11/17~11/18
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	-	0	-	0	-	-	-	
東北⇒北海道	530	-	550	-	500	-	-	-	
方向	1月（函館幹線作業、順方向のみ550MW）								・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 11/17~11/18
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	0	-	-					
東北⇒北海道	490	490	-	-					

（注） マージンの値の内訳はシート12に記載
 括弧内の数値は作業時の運用容量を示す

2. 2026年度 平日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート8参照												
	東北⇒北海道	シート8参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~450	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部フェンス	北陸・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸フェンス	北陸向	算出条件等検討中※1												
	中部・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西フェンス	関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部・北陸向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート16に記載

※1 2026年度に中地域交流ループ運用開始の予定のため検討中

2. 2026年度 休日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート8参照												
	東北⇒北海道													
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~450	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部フェンス	北陸・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸フェンス	北陸向	算出条件等検討中※1												
	中部・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西フェンス	関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部・北陸向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート16に記載

※1 2026年度に中地域交流ループ運用開始の予定のため検討中

2. 2026年度 北本連系設備

〔単位：MW〕

方向	4月				5月				6月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	250	280	290	280	290	310	310	310	280	320	300	320
東北⇒北海道	530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570
方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	280	320	290	320	280	330	290	320	280	330	310	320
東北⇒北海道	550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	560	570
方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	270	320	310	310	250	280	290	280	190	210	220	200
東北⇒北海道	540	570	560	560	530	550	550	550	500	510	520	510
方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
東北⇒北海道	490	480	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520

(注) マージンの値の内訳はシート14に記載

2. 2026年度 北本連系設備（作業時）

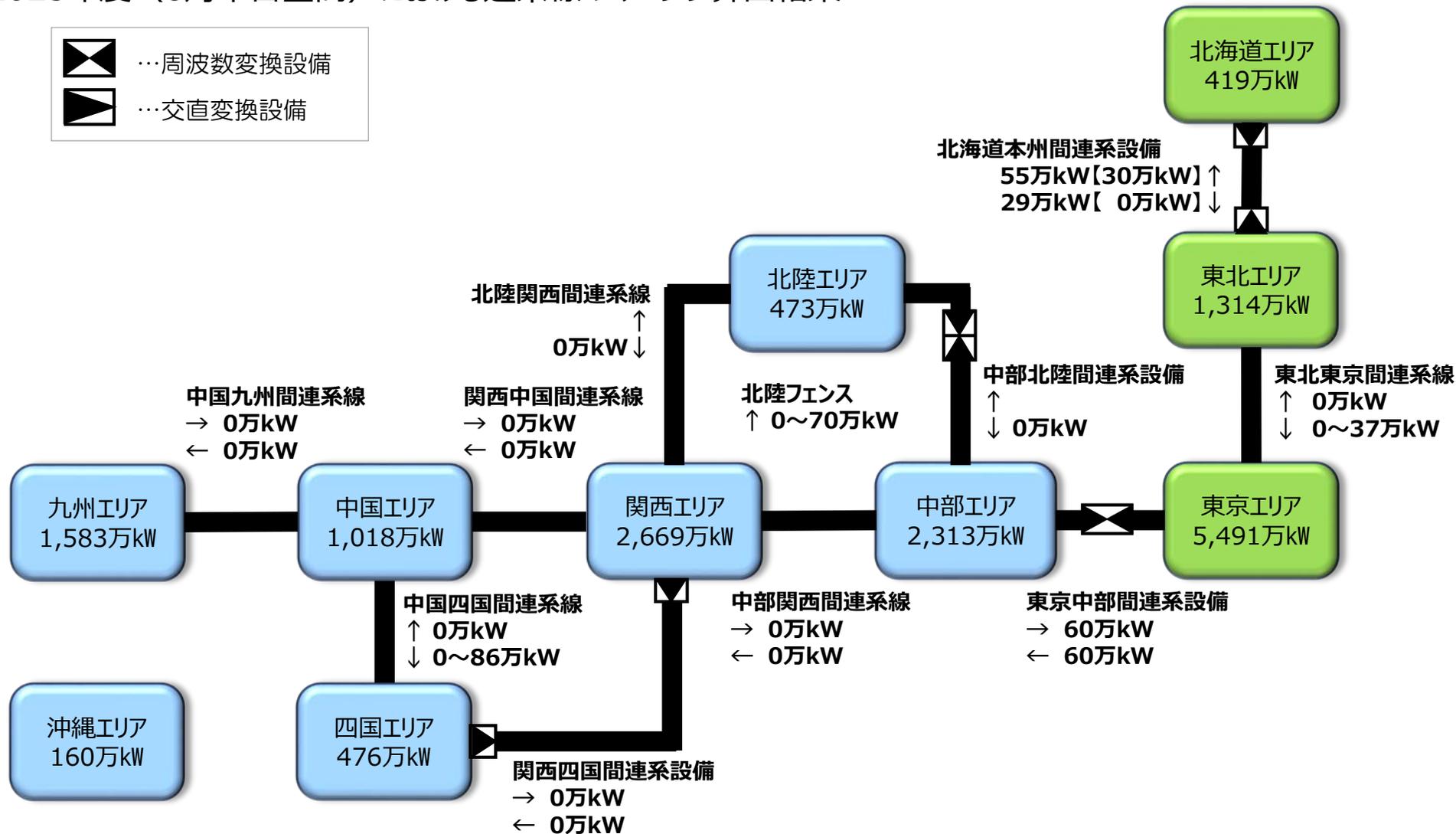
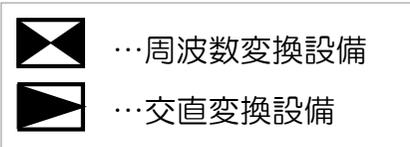
【作業時】

〔単位：MW〕

方向	5月（北本+最大ユニット作業、600MW）				5月（北本作業、600MW）				備考
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	10	10	10	0	10	-	-	・北本作業（運用容量600MW）（片極停止） 平P 5/15, 5/18-5/22, 5/25-5/29, 6/8-6/12, 7/9-7/10, 7/13-7/15 平N 5/15, 5/18-5/22, 5/25-5/29, 6/8-6/12, 7/9-7/10, 7/13-7/15 休P 5/16-5/17, 5/23-5/24, 6/13, 7/11-7/12 休N 5/16-5/17, 5/23-5/24, 6/13, 7/11-7/12
東北⇒北海道	420	430	430	430	550	560	-	-	
方向	5月（北本作業、300MW）				6月（北本作業、600MW）				・北本作業（運用容量300MW）（双極停止） 平P 5/29, 7/15 平N 6/8 休P 6/13
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	-	-	-	0	20	0	20	・新北本作業（運用容量600MW） 平P 6/18-6/19, 6/22-6/26, 6/29-6/30, 7/1-7/3, 7/17, 7/21-7/24, 7/27-7/31, 8/3-8/7, 8/10, 8/12-8/14, 8/17-8/21, 8/24-8/28, 8/31, 9/1-2027/6/30 平N 6/18-6/19, 6/22-6/26, 6/29-6/30, 7/1-7/3, 7/17, 7/21-7/24, 7/27-7/31, 8/3-8/7, 8/10, 8/12-8/14, 8/17-8/21, 8/24-8/28, 8/31, 9/1-2027/6/30 休P 6/20-6/21, 6/27-6/28, 7/18-7/20, 7/25-7/26, 8/1-8/2, 8/8-8/9, 8/11, 8/15-8/16, 8/22-8/23, 8/29-8/30, 9/1-2027/6/30 休N 6/20~6/21, 6/27-6/28, 7/18-7/20, 7/25-7/26, 8/1-8/2, 8/8-8/9, 8/11, 8/15-8/16, 8/22-8/23, 8/29-8/30, 9/1-2027/6/30
東北⇒北海道	300	-	-	-	550	570	560	570	
方向	6月（北本作業、300MW）				6月（新北本作業、600MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	-	20	0	-	280	320	300	320	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	-	300	300	-	550	570	560	570	
方向	7月（北本作業、600MW）				7月（北本作業、300MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	0	20	0	20	0	-	-	-	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	550	570	550	570	300	-	-	-	
方向	7月（新北本作業、600MW）				8月（新北本作業、600MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	280	320	290	320	280	330	290	320	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	550	570	550	570	550	570	550	570	
方向	9月（新北本作業、600MW）				10月（新北本作業、600MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	280	330	310	320	270	320	310	310	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	550	570	560	570	540	570	560	560	
方向	11月（新北本作業、600MW）				12月（新北本作業、600MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	250	280	290	280	190	210	220	200	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	530	550	550	550	500	510	520	510	
方向	1月（新北本作業、600MW）				2月（新北本作業、600MW）				・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	160	150	200	170	180	180	210	170	・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	490	480	510	490	500	500	510	500	
方向	3月（新北本作業、600MW）								・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
	平P	平N	休P	休N					
北海道⇒東北	230	230	270	230					・最大ユニット作業（運用容量600MW） 平P 4/29-5/27 平N 4/29-5/27 休P 4/29-5/27 休N 4/29-5/27
東北⇒北海道	520	520	540	520					

(注) マージンの値の内訳はシート15に記載
 括弧内の数値は作業時の運用容量を示す

2025年度（8月平日昼間）における連系線のマージン算出結果



・各エリア内の数値は、2025年度8月の送電端最大需要電力予想（H3）を表す
 ・【 】内の数値は、北本連系設備作業に伴う運用容量最小時のマージンを示す

(参考) 北本連系設備の内訳 (2025年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1の値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月				5月				6月				7月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	250	280	290	290	290	310	310	310	280	320	300	320	280	320	290	320
		250	280	290	290	290	310	310	310	280	320	300	320	280	320	290	320
東北⇒北海道	B1	530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570	550	570	550	570
	C1	430	450	450	450	450	460	460	460	450	470	460	470	450	470	450	470
		530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570	550	570	550	570
方向	区分	8月				9月				10月				11月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	290	330	290	320	280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280
		290	330	290	320	280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280
東北⇒北海道	B1	550	570	550	570	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550
	C1	450	470	450	470	450	470	460	470	440	470	460	460	430	450	450	450
		550	570	550	570	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550
方向	区分	12月				1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	190	210	220	200	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
		190	210	220	200	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
東北⇒北海道	B1	500	510	520	510	490	490	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520
	C1	400	410	420	410	390	390	410	390	400	400	410	400	420	420	440	420
		500	510	520	510	490	490	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520

(参考) 北本連系設備の内訳 (2025年度、作業時)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1の値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	5月(北本作業、600MW)				5月(北本作業、300MW)				6月(北本作業、600MW)				6月(北本作業、300MW)				6月(新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	10	10	10	-	-	10	-	0	20	0	20	0	-	0	-	280	320	300	320
		0	10	10	10	-	-	10	-	0	20	0	20	0	-	0	-	280	320	300	320
東北⇒北海道	B1	550	560	560	560	-	-	300	-	550	570	560	570	300	-	300	-	550	570	560	570
	C1	150	160	160	160	-	-	160	-	150	170	160	170	150	-	160	-	450	470	460	470
		550	560	560	560	-	-	300	-	550	570	560	570	300	-	300	-	550	570	560	570
方向	区分	7月(新北本作業、600MW)				8月(新北本作業、600MW)				8月(北本作業、600MW)				8月(北本作業、300MW)				9月(新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	280	320	290	320	290	330	290	320	0	30	0	20	0	30	-	-	280	330	310	320
		280	320	290	320	290	330	290	320	0	30	0	20	0	30	-	-	280	330	310	320
東北⇒北海道	B1	550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	300	300	-	-	550	570	560	570
	C1	450	470	450	470	450	470	450	470	150	170	150	170	150	170	-	-	450	470	460	470
		550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	550	570	300	300	-	-	550	570	560	570
方向	区分	10月(新北本作業、600MW)				10月(北本作業、600MW)				11月(北本作業、600MW)				11月(北本作業、300MW)				11月(函館幹線作業、順方向のみ550MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	270	320	310	310	0	20	10	10	0	0	0	0	-	-	0	-	0	-	0	-
		270	320	310	310	0	20	10	10	0	0	0	0	-	-	0	-	0	-	0	-
東北⇒北海道	B1	540	570	560	560	540	570	560	560	530	550	550	550	-	-	300	-	530	-	550	-
	C1	440	470	460	460	140	170	160	160	130	150	150	150	-	-	150	-	130	-	150	-
		540	570	560	560	540	570	560	560	530	550	550	550	-	-	300	-	530	-	550	-
方向	区分	12月(函館幹線作業、順方向のみ550MW)				1月(函館幹線作業、順方向のみ550MW)															
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	0	-	-	-	0	0	-	-												
		0	-	-	-	0	0	-	-												
東北⇒北海道	B1	500	-	-	-	490	490	-	-												
	C1	100	-	-	-	90	90	-	-												
		500	-	-	-	490	490	-	-												

(注) マージンの値が運用容量の値よりも大きくなる場合は、運用容量の値が上限になる

(説明)

・東北⇒東京向きは、区分C2の値をマージンとする

〔単位：MW〕

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	C2	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380
	平日	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380
	休日	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380

(参考) 北本連系設備の内訳 (2026年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1の値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月				5月				6月				7月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	250	280	290	280	290	310	310	310	280	320	300	320	280	320	290	320
		250	280	290	280	290	310	310	310	280	320	300	320	280	320	290	320
東北⇒北海道	B1	530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570	550	570	550	570
	C1	430	450	450	450	450	460	460	460	450	470	460	470	450	470	450	470
		530	550	550	550	550	560	560	560	550	570	560	570	550	570	550	570
方向	区分	8月				9月				10月				11月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	280	330	290	320	280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280
		280	330	290	320	280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280
東北⇒北海道	B1	550	570	550	570	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550
	C1	450	470	450	470	450	470	460	470	440	470	460	460	430	450	450	450
		550	570	550	570	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550
方向	区分	12月				1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	190	210	220	200	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
		190	210	220	200	160	150	200	170	180	180	210	170	230	230	270	230
東北⇒北海道	B1	500	510	520	510	490	480	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520
	C1	400	410	420	410	390	380	410	390	400	400	410	400	420	420	440	420
		500	510	520	510	490	480	510	490	500	500	510	500	520	520	540	520

(参考) 北本連系設備の内訳 (2026年度、作業時)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1の値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	5月 (北本+最大ユニット作業、600MW)				5月 (北本作業、600MW)				5月 (北本作業、300MW)				6月 (北本作業、600MW)				6月 (北本作業、300MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	10	10	10	0	10	-	-	0	-	-	-	0	20	0	20	-	20	0	-
		0	10	10	10	0	10	-	-	0	-	-	-	0	20	0	20	-	20	0	-
東北⇒北海道	B1	420	430	430	430	550	560	-	-	300	-	-	-	550	570	560	570	-	300	300	-
	C1	150	160	160	160	150	160	-	-	150	-	-	-	150	170	160	170	-	170	160	-
		420	430	430	430	550	560	-	-	300	-	-	-	550	570	560	570	-	300	300	-
方向	区分	6月 (新北本作業、600MW)				7月 (北本作業、600MW)				7月 (北本作業、300MW)				7月 (新北本作業、600MW)				8月 (新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	280	320	300	320	0	20	0	20	0	-	-	-	280	320	290	320	280	330	290	320
		280	320	300	320	0	20	0	20	0	-	-	-	280	320	290	320	280	330	290	320
東北⇒北海道	B1	550	570	560	570	550	570	550	570	300	-	-	-	550	570	550	570	550	570	550	570
	C1	450	470	460	470	150	170	150	170	150	-	-	-	450	470	450	470	450	470	450	470
		550	570	560	570	550	570	550	570	300	-	-	-	550	570	550	570	550	570	550	570
方向	区分	9月 (新北本作業、600MW)				10月 (新北本作業、600MW)				11月 (新北本作業、600MW)				12月 (新北本作業、600MW)				1月 (新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280	190	210	220	200	160	150	200	170
		280	330	310	320	270	320	310	310	250	280	290	280	190	210	220	200	160	150	200	170
東北⇒北海道	B1	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550	500	510	520	510	490	480	510	490
	C1	450	470	460	470	440	470	460	460	430	450	450	450	400	410	420	410	390	380	410	390
		550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550	500	510	520	510	490	480	510	490
方向	区分	2月 (新北本作業、600MW)				3月 (新北本作業、600MW)															
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	180	180	210	170	230	230	270	230												
		180	180	210	170	230	230	270	230												
東北⇒北海道	B1	500	500	510	500	520	520	540	520												
	C1	400	400	410	400	420	420	440	420												
		500	500	510	500	520	520	540	520												

(注) マージンの値が運用容量の値よりも大きくなる場合は、運用容量の値が上限になる

(説明)

・東北⇒東京向きは、区分C2の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	C2	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~450
	平日・休日	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~450

2027~2034年度の長期マージン（長期）

2025年 3月 1日

1. 2027~2034年度

〔単位：MW〕

連系線	方向	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	150	150	150	150	150	150	150	150	最大需要時の値(1月平日夜間)
		330	330	330	330	330	330	330	330	マージン最大値(8月平日夜間)
	東北⇒北海道	480	480	480	480	480	480	480	480	最大需要時の値(1月平日夜間)
		570	570	570	570	570	570	570	570	マージン最大値(8月平日夜間)
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部フェンス	北陸・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部向	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸フェンス	北陸向	算出条件等検討中※1								
	中部・関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西フェンス	関西向	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部・北陸向	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 想定需要の見直し等により、マージンの値は変更となる場合がある（以降、同じ）

本資料において、昼間帯は8時～22時、夜間帯は0時～8時および22時～24時を表す

需給調整市場に係るマージンは、エリア外調達量が未定のため設定していない（以降、同じ）

表中のマージンは最大需要時の値を示すが、北海道本州間連系設備は、最大需要時以外でマージンが最大となると想定される断面の値も併せて示す。

マージンの値の内訳はシート3に記載

※1 2026年度に中地域交流ループ運用開始の予定のため検討中

(参考) 北本連系設備の内訳 (2027~2034年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい値をマージンとする。

最大需要時 〔単位：MW〕

方向	区分	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
北海道⇒東北	C1	150	150	150	150	150	150	150	150
	平日	150	150	150	150	150	150	150	150
東北⇒北海道	B1	480	480	480	480	480	480	480	480
	C1	380	380	380	380	380	380	380	380
	平日	480	480	480	480	480	480	480	480

マージン最大時 〔単位：MW〕

方向	区分	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
北海道⇒東北	C1	330	330	330	330	330	330	330	330
	平日	330	330	330	330	330	330	330	330
東北⇒北海道	B1	570	570	570	570	570	570	570	570
	C1	470	470	470	470	470	470	470	470
	平日	570	570	570	570	570	570	570	570

マージンの設定の考え方及び確保理由

2025年 3月 1日

1.実需給断面におけるマーシンの確保理由におけるマーシ分区分概要

▶ 各連系線のマーシ分区分概要は下表のとおり

連系線	方向	A0	A1	B0	B1	B2	C1	C2	長期・年間マーシンの設定の考え方 (and:加算,or:大きい方)
		需給調整市場※1	最大エツト相当※2	需給調整市場※1	EPPS等	EPPS	潮流抑制		
北海道本州間 連系設備	順	①		①			⑥		⑥
	逆	①		①	④		⑥		④ or ⑥
東北東京間 連系線	順	①		①				⑦	⑦
	逆	①		①					—
東京中部間 連系設備	順	①		①		⑤			⑤
	逆	①		①	④				④
中部北陸間 連系線	逆	①		①					—
	北陸F (順)※3	①	②	①					②
北陸関西間 連系線	順	①		①					—
	逆	①		①					—
中部関西間 連系線	順	①		①					—
	逆	①		①					—
関西中国間 連系線	順	①		①					—
	逆	①		①					—
関西四国間 連系設備	順	①		①					—
	逆	①		①					—
中国四国間 連系線	順	①	②	①					②
	逆	①		①					—
中国九州間 連系線	順	①		①					—
	逆	①		①					—

※1 需給調整市場で取引する調整力のためのマーシンは、長期・年間断面では設定しない。

※2 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーシンとして設定する。

※3 2026年度以降は、中地域交流ループ運用開始の予定のため検討中

2.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (1)

年間・長期断面におけるマーヅンは、以下の実需給断面におけるマーヅンの設定の考え方にに基づき設定する。

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北 (順方向)	<p>北海道本州間連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数上昇を一定値以内に抑制するため。具体的には、次の①、②のうち大きい値とする。</p> <p>① 北海道・本州間電力連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の上昇が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>② 新北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の上昇が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。</p>
	東北⇒北海道 (逆方向)	<p>北海道エリアの電源のうち、出力が最大である単一の電源の最大出力が故障等により失われた場合にも、北海道エリアの周波数低下を一定値以内に抑制するため。なお単一の電源の最大出力は発電計画等を踏まえ設定する。〈B1〉</p> <p>但し、次の①、②のいずれかが、上記の値よりも大きい場合は①、②のうち大きい方の値とする。</p> <p>① 北海道・本州間電力連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数低下が一定値以内となる潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>② 新北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の低下が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。</p>

※1 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、二次調整力②のエリア外約定量。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

2.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (2)

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
東北東京間 連系線	東北⇒東京 (順方向)	台風や暴風雪等の予見可能なリスクが高まった場合は、電力系統を安定に維持するため、東京エリア内で想定する送電線の故障により複数の電源が脱落した場合に東北エリアから東京エリアに流れる最大の潮流の値〈C2〉 また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
	東京⇒東北 (逆方向)	※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
東京中部間 連系設備	東京⇒中部 (順方向)	60Hz系統内で送電線の故障により複数の電源が脱落した場合又は最大電源が脱落した場合に、60Hz系統の周波数低下を抑制するため。但し、東京中部間連系設備を介して東北・東京エリアから電力を受給しても、東北・東京エリアの周波数偏差と60Hz系統の周波数偏差が原則逆転しない値とする。〈B2〉 また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
	中部⇒東京 (逆方向)	50Hz系統内で送電線の故障により複数の電源が脱落した場合、又は最大電源が脱落した場合に、東北・東京エリアの周波数低下を抑制するため。但し、東京中部間連系設備を介して60Hz系統から電力を受給しても、60Hz系統の周波数偏差と東北・東京エリアの周波数偏差が原則逆転しない値とする。〈B1〉 また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。

※1 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

2.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (3)

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
中部北陸間 連系線	北陸⇒中部 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	中部⇒北陸 (順方向)	※1 (最大値は、北陸エリアの融通期待量 (最大電源ユニット相当量) ※2を考慮) 〈A1〉 また、上記に※3※4を加える。
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	北陸⇒関西 (順方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
中部関西間 連系線	中部⇒関西 (順方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	関西⇒中部 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉

※1 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域に必要な運転予備力 又は 電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーヅンとして設定する。

※2 中部北陸間連系設備及び北陸関西間連系線と合わせて確保する。(北陸フェンスにて管理)

※3 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※4 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

2.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (4)

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
関西中国間 連系線	関西⇒中国 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	中国⇒関西 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
関西四国間 連系設備	関西⇒四国 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	四国⇒関西 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
中国四国間 連系線	中国⇒四国 (順方向)	※1 (最大値は、四国エリアの融通期待量 (最大電源ユニット相当量)) 〈A1〉 また、上記に※2※3を加える。
	四国⇒中国 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
中国九州間 連系線	中国⇒九州 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	九州⇒中国 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉

※1 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域に必要な運転予備力 又は 電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーヅンとして設定する。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※3 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

【予備力・調整力に関連したマージン】

内は当該区分に該当する現状のマージン

マージンの目的 マージンの分類	通常考慮すべきリスクへの対応		稀頻度リスクへの対応
	エリア外調達分	エリア外期待分	エリア外期待分
「需給バランスに対応したマージン」 需給バランスの確保を目的として、連系線を介して他エリアから電気を受給するために設定するマージン	A 0 ・三次調整力① ・三次調整力②	A 1 ・最大電源ユニット相当	A 2 ・該当なし
「周波数制御に対応したマージン」 電力系統の異常時に電力系統の周波数を安定に保つためまたは周波数制御（電源脱落対応を除く）のために設定するマージン	B 0 ・一次調整力 ・二次調整力①※1 ・二次調整力②	B 1 ・東京中部間連系設備（EPPS：逆方向） ・北海道本州間連系設備（緊急時AFC：逆方向）	B 2 ・東京中部間連系設備（EPPS：順方向）

※1：2027年度から適用

【連系線潮流抑制による安定維持のためのマージン】

マージンの分類	マージンの目的	通常考慮すべきリスクへの対応	稀頻度リスクへの対応
「連系線潮流抑制のためのマージン」 電力系統の異常時に電力系統を安定に保つことを目的として、当該連系線の潮流を予め抑制するために設定するマージン		C 1 ・北海道本州間連系設備（潮流抑制）	C 2 ・東北東京間連系線（潮流抑制）

ウェブサイト公表イメージ

2025～2034 年度の連系線のマージン(年間・長期)、実需給断面におけるマージン設定の考え方及び確保理由について

本機関は、業務規程第 129 条の規定に基づき、マージンの設定の考え方に基づいたマージン検討会の検討を踏まえ、毎年 2 月末までに翌年度以降の長期及び年間における連系線のマージンを算出し、その結果を公表することとしております。

2025～2034 年度の連系線のマージンを算出しましたので、別紙 1(年間)、別紙 2(長期)のとおり公表いたします。

また、同第 128 条の規定に基づき、連系線毎の実需給断面におけるマージンの設定の考え方及び確保理由について、別紙 3 のとおり公表いたします。

添付資料

- [別紙 1 2025・2026 年度の連系線のマージン\(年間\)](#) 
- [別紙 2 2027～2034 年度の連系線のマージン\(長期\)](#) 
- [別紙 3 マージンの設定の考え方及び確保理由](#) 

※別紙の添付省略

※年間における日毎の運用容量等詳細は系統情報サービスをご覧ください。(2025 年 3 月 15 日公表)

[系統情報サービス](#) > [地域間連系線情報](#) > [連系線空容量参照](#) > [連系線空容量](#)

参考資料

- [マージン検討会の資料](#)

関連リンク

- 2025・2026 年度連系線の運用にかかわる平日・休日カレンダーを系統情報サービスに掲載しています。
[系統情報サービス](#) > [その他情報](#) > [各種情報参照](#) > [各種情報\(カテゴリ:連系線等の運用\)](#)
> 「2025・2026 年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」